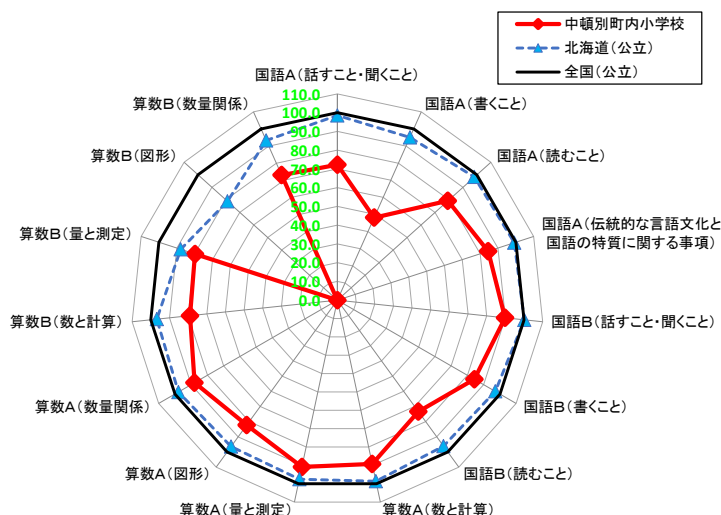


■中頓別町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、児童数:12人)

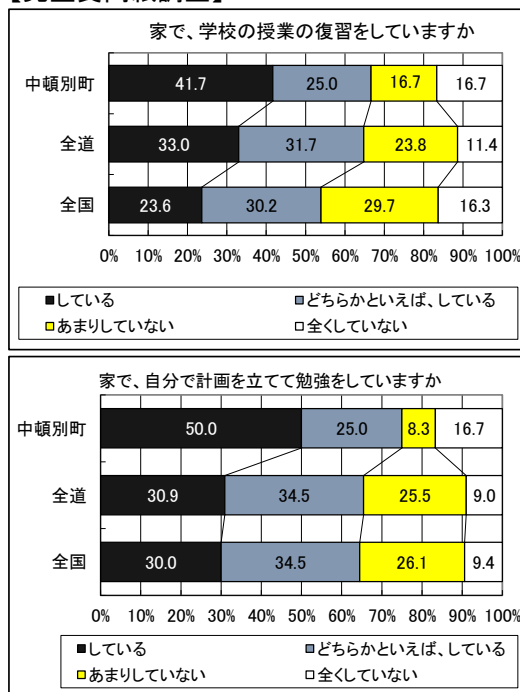
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

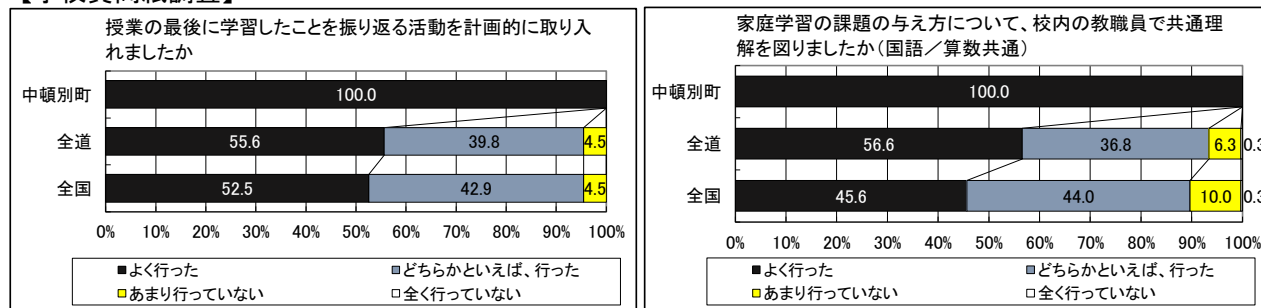
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 算数Aでは、「量と測定」で全国に最も近くなっている。	○ 授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れ、授業の内容と家庭学習を関連させたことにより、家で学校の授業の復習をする児童の割合が全国を上回るとともに、学習内容の定着が進み、算数Aの「量と測定」で全国に最も近くなったと考えられる。
児童質問紙	○ 「家で、学校の授業の復習をしている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「家で、自分で計画を立てて勉強している」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図って指導したことにより、家で、計画的に勉強をする児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図った。 ○ 授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた。	

【中頓別町の学力向上策】

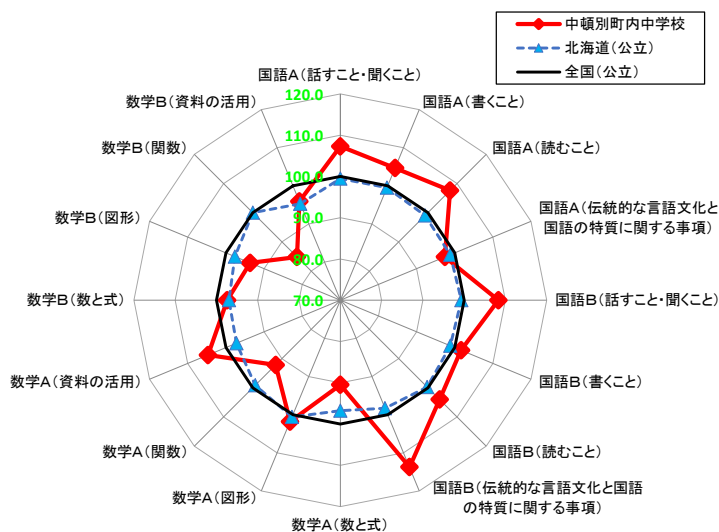
- ◎ 「早寝早起き朝ごはん」運動の推進、家庭学習習慣の確立や読書の時間の確保
- ◎ 土曜日授業の実施による補充的な学習等の授業時間確保
- ◎ 町費負担の複式学級支援教員の配置による複式学級における学年別指導の充実
- ◎ 全国学力・学習状況調査の結果に基づく教育活動の検証・改善
- ◎ 中頓別町教育研究会への支援、中頓別町・浜頓別町合同研究会の開催

■中頓別町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:17人)

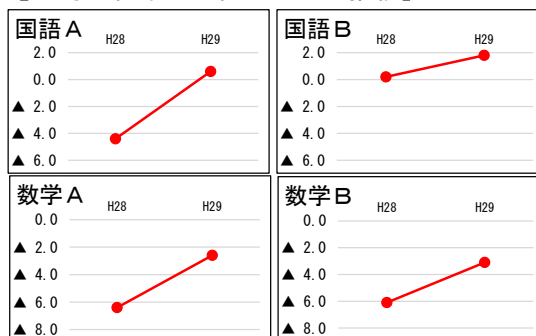
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

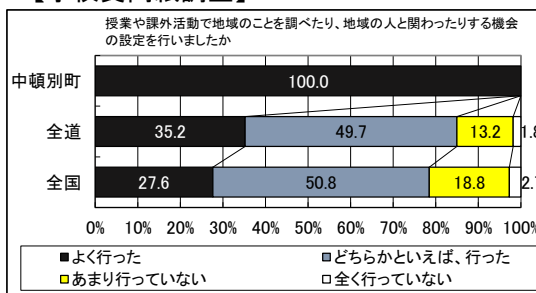


【平均正答率の全国との差の推移】

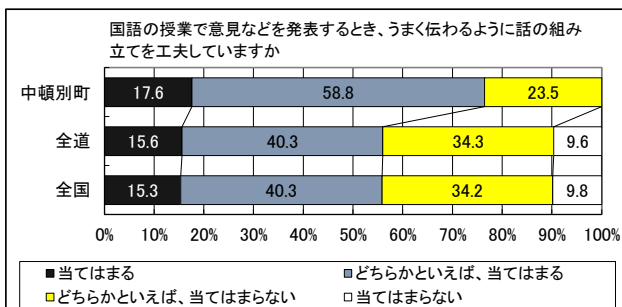
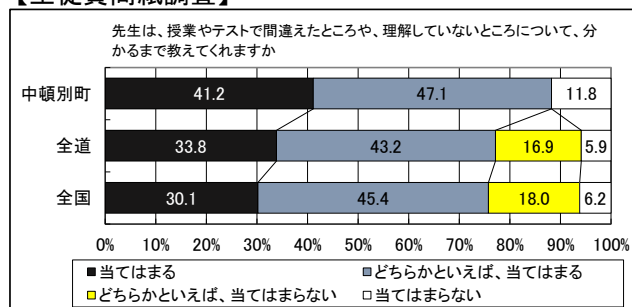


※「平均正答率－全国(公立)の平均正答率」の差の経年変化

【学校質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【分析】

教科	- 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」、Bでは、すべての領域で全国を上回っている。 - 数学Aでは、「図形」「資料の活用」で全国を上回っている。	個に応じた丁寧な指導を行ったことにより、先生は分かるまで教えてくれると回答した生徒の割合が全国を上回るとともに、生徒の学習内容の定着が進み、すべての教科で前年度を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 「国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫している」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。	授業や課外活動で、地域の人と関わる機会を設定したことにより、言語活動の充実が図られ、国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てをしていると回答した生徒の割合が全国及び全道を上回るとともに、自分の考えを説明する力が高まり、国語Bのすべての領域で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会の設定を行った。	

【中頓別町の学力向上策】

- ◎ 「早寝早起き朝ごはん」運動の推進、家庭学習習慣の確立や読書の時間の確保
- ◎ 土曜日授業の実施による補充的な学習等の授業時間確保
- ◎ 全国学力・学習状況調査の結果に基づく教育活動の検証・改善
- ◎ 中頓別町教育研究会への支援、中頓別町・浜頓別町合同研究会の開催